

カ	ラ	―	■特集	善光寺二世中興大圓武志大和尚十七回忌法要……………	1	
法	話	●	住職法話	「人を思いやる心」 『生きる力』 令和二年お盆発行より…黒田 博志	18	
連	載	●	『普勸坐禅儀』に学ぶ	その十四……………	22	
法	話	●	「梅花流詠讃歌の歴史と曲の紹介」……………	渡邊 清徳	28	
		●	「観音さまは どう」……………	水庭 浩章	38	
カ	ラ	―	■観音堂	観世音菩薩像 開眼式……………	49	
		■	開山忌	■善光寺留学僧育英会辞令交付式……………	52	
ア	ー	カ	イ	ブ	■第二十四卷（一九九五年）・第二十九卷（一九九九年）より……………	58
					●育英生からの報告……………	67
					●ニューズアラカルト……………	78
					●善光寺霊園ニューズ……………	110
お	知	ら	せ	●	留学僧募集、毎月の催事……………	116
育	英	会	寄	付	普門寺からのお便り……………	126
					育英生からのお便り……………	128
					読者のたより……………	135
					編集後記……………	144

題字・イラスト 伊藤三喜庵

# 巻頭言



善光寺住職 黒田博志

本年、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、未だに収束の糸口が見いだせておりません。この感染症により尊い命を失われた皆さまに深く哀悼の意を捧げますと共に罹患された皆様におかれましては、一日も早いご回復をお祈り致します。また極限に近い状況の中で治療にご尽力頂いている医療従事者の皆さま、並びにこの

緊急事態の中にあつて日々の生活を支えて下さっている多くのの方々に敬意を表します。

三月春彼岸。寺では、今までになかった一斉法要参列中止。開創以来寺檀一体となつて勤めてきたご先祖さまのご供養を急遽、僧侶のみで執り行うことと致しました。感染症拡大防止の為とは言え寂しくつらい判断でした。

続く孟蘭盆施食法会では同時刻にご自宅のお仏壇の前で一緒のお勤めをお願いしましたところ大勢の皆さまがご一緒にお勤めして下さいたとお話を頂戴しました。形は変えても寺檀一体は続いている、その有難さに胸が熱くなりました。新しい生活様式の中でも皆さまの心にやすらぎが訪れますように寺として精一杯勤めて参ります。

十一月には師父大圓武志大和尚の十七回忌法要を倫勝寺ご住職馬場義實老師に導師をお勤め頂き厳修。続く詣塔諷経では観音寺ご住職黒田法正老師導師のもとお墓参りを行うことが出来ました。

この時期に法要を行うことについて悩みに悩みましたが、関係各位のご理解とご協力を賜り執り行うことができ安堵致しました。衷心より篤く御礼を申し上げます。

その師父の誓願でもあった観音堂も完成し、観音さまをお迎えすることが出来ました。昨年の開創五十周年記念事業として計画された観音堂。師父十七回忌という節目での完成は、仏天のご加護はもとより、ご縁のご寺院さま、檀信徒みなさま、地元の皆様のご理解とご協力ご支援の賜物と感じております。

観世音菩薩様。観音さまは私たちの声を聞き、お救い導いて下さる仏さまです。また時に声にならないような苦しい思いも観て下さる仏さまです。観音さまはいつでも観護みまもって下さっていらっしやいます。

社会全体が閉塞感に包まれ、人々が悩み苦しむこのような時期だからこそ、お迎えすることのできた観音さまの意味を受け止め、更にそのお力を最大限に發揮していた

だけるよう私自身も精進して参りますので、皆さまもぜひ観音さまとご縁を結び共にこの難局を乗り越えて参りましょう。

来る年も善光寺は皆さまと共に歩んで参ります。今後ともご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。